

第49回滋賀県スポーツ少年団選手権大会
〔第25回しがぎんカップ〕〔第11回平和堂杯〕

大会要項

1. 主 旨

日本の将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。

将来に向けて大きく成長するための準備として、この年代にふさわしいゲーム環境を提供することにより、育成年代で年代に応じた豊かな経験を積み重ねる中で自ら成長していくことのできるようサポートする。子どもたちや周囲の大人が、サッカー、スポーツの素晴らしさに触れ、生涯にわたって楽しみ、関わっていきけるよう、文化として醸成していくことを目指す。

2. 主 催 公益社団法人滋賀県サッカー協会

3. 主 管 公益社団法人滋賀県サッカー協会4種委員会

4. 後 援 滋賀県教育委員会・守山市教育委員会・野洲市教育委員会・
湖南市教育委員会・滋賀県体育協会・滋賀県スポーツ少年団

5. 協 賛 株式会社滋賀銀行 株式会社平和堂

6. 期日・会場

ブロック予選：平成29年4月～5月 湖西・湖南・湖東・湖北・甲賀各ブロック

開会式：5月20日(土) 湖南市総合体育館(湖南市夏見589)

トーナメント戦 1回戦：6月4日(日) 2・3回戦：6月11日(日) 準決勝以降：6月18日(日)

野洲川歴史運動公園サッカー場<ビッグレイク>(守山市服部町2439番地)

※本大会の上位4チームは、ニッポンハムカップ第41回関西少年サッカー大会に出場する。

期日：9月2日(土)・3日(日) 会場：J-GREEN堺

7. 日 程 トーナメント表の通り

8. 組み合わせ 開会式に抽選を行い決定する

9. 参加チーム 湖西：8 湖南：6 湖東：8 湖北：3 甲賀：6 特別枠：1 合計32

10. 参加資格

- 1) 参加チームは、当年度に日本サッカー協会第4種に加盟登録したチーム(以下「加盟チーム」)であること。
- 2) 上記参加チームの構成は単一チームに限られ、そのチームは年間を通じて継続的に活動していること。
- 3) 参加選手は、上記加盟チームに所属し、そのチームを主たる活動場所とする者であること。
- 4) 試合当日、参加選手は顔写真が確認できる選手証を保持し、必要時に提示すること。
- 5) ブロック予選から上位大会に至るまでに、同一選手が異なる加盟チームに移籍後、再び参加できない。
- 6) 参加チーム及び選手は、各ブロック予選を勝ち抜いたチーム・選手とする。
- 7) チーム役員は、責任を持って参加チームを掌握指導できる成人であること。また、内1名以上が公益財団法人日本サッカー協会公認指導者資格(D級コーチ以上)を有すること。
- 8) チーム代表者は、選手が心身ともに健康で大会への参加に問題がないことを、事前に保護者等に確認しなければならない。(参加承諾書等の書面で確認することが望ましい)
- 9) 参加チームは必ず傷害保険(スポーツ安全傷害保険)に加入していること。

11. 参加費 5,000円

12. 大会方法 32チームによるトーナメント方式とする。

13. 競技規則 大会開催時に適用の公益財団法人日本サッカー協会の規約・規程・競技規則に則る。
参照用URL <http://www.jfa.jp/documents/>

14. 競技会規定 以下の項目については本大会の規定を定める。

1) 競技のフィールド

- ① フィールドの大きさは 68m×50m を基本とする。
- ② ペナルティエリア等 ペナルティエリア：12m ペナルティマーク：8m
ゴールエリア：4m ペナルティマーク及びセンターサークル半径：7m
- ③ ゴールポストの間隔は5m、クロスバーの高さはグラウンドから2.15mとする。

2) 試合球 4号球を使用する。

3) 競技者の数および交代

- ① 1チーム8人の競技者によって行われる。競技者のうち1人はゴールキーパー（以下GK）とする。試合開始時に競技者が8人に満たない場合は不戦敗とし、0対10で相手チームの勝利とする。試合中、怪我等による人数不足により競技者が8人未満になった場合は、そのまま試合終了まで続行する。
- ② 登録できる交代要員および交代の最大人数は制限しない。交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない。
- ③ 自由交替制とし、交代ゾーンからインプレー中も自由に交代できる。交代の際は、ピッチに入ろうとする選手から出ようとする選手にビブスを手渡して明確に入れ替わること。ただしGKはアウトオブプレー時に主審の許可を得て交代すること。

4) 競技者の用具

- ① スパイクシューズを使用する場合は、ポイントが固定式で、金属が露出していない安全な物であること。
- ② 試合当日、参加チームは登録した正副両方のユニフォームを用意すること。
- ③ 選手番号については「参加選手」ごとに本大会に登録された固有の番号を使用すること。ただし、GKの負傷退場等により、緊急避難的にフィールドプレーヤー（以下FP）がGKに代わる場合については、その競技者固有の番号の表示を義務付けるものではない。
- ④ ユニフォームに番号を取り付ける場合は、容易に破損しない布地を使用し、全周囲を途切れることなく縫い付けること。四隅のみの縫い付けや、安全ピン・ホック・ボタン等での取り付けは認めない。
- ⑤ 競技者は、シャツの裾をショーツに入れることが望ましい。審判または大会運営役員からシャツの裾をショーツに入れるよう指示された場合は従うこと。
- ⑥ 特に注意すべき点を以下に示す。【 】内は規定条項またはJFA関連通達名
 - a) 【ユニフォーム規定第4条1項】ユニフォームのうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒と明確に判別し得るものでなければならない。（黒以外に濃紺や深緑も不可となる場合があるので注意すること）
 - b) 【ユニフォーム規定第4条2項】シャツの前面と背面の主たる色彩は同じでなければならない。ショーツ及びストッキングの前面と背面の色彩は同じでなければならない。
 - c) 【サッカー競技規則第4条】GKのユニフォームは、他の競技者、主審、副審と区別できる色でなければならない。（ビブスによる対応は認められない）
 - d) 【ユニフォーム規定第4条4項及び5項】対戦チームのユニフォームは当事者同士で譲り合って調整すること。調整の際、登録したユニフォームをどのように組み合わせてもよい。当事者で調整できない場合はその試合の主審を交えて調整する。
 - e) 【8人制サッカー競技規則第4条】両チームのGKのユニフォームが同色で、両者が他のユニフォームと着替えることができない場合、両チーム同じ色彩でも良い。
 - f) 【ユニフォーム規定第5条(2)】選手番号は、服地と明確に区別し得る色彩（服地が縞柄で判読が困難な場合には台地を付ける）であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。（大会本部注：シャツの前面にも選手番号を表示することが望ましい）
 - g) 【ユニフォーム規定第5条(2)】番号は整数の1から99を使用すること。0は認めない。（ただしチームのJFA登録選手が100名以上の場合に限り、100以上の番号を認めることがある）
 - h) 【サッカー競技規則第4条】【ユニフォーム規定第11条による大会特別規定】アンダーシャツはシャツの袖の主たる色と同じものでなければならない。アンダーショーツおよびタイツは、ショーツの主たる色、またはショーツの裾の部分と同じ色でなければならない。同一チームの競技者が着用する場合、同色のものとする。襟元から見える部分の色やシャツのメーカー統一については規定しない。
 - i) 【サッカー競技規則第4条・ソックス】テープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、それは着用するまたは覆う部分のソックスの色と同じものでなければならない。
 - j) 【ユニフォーム規定第5条】シャツの背中部分には、選手名、選手番号、メーカーロゴ以外の表示があってはならない。

- k) 【ユニフォーム規定第8条による特別規定】県大会ではユニフォームに広告を表示してはならない。ただし、正式にJFAの承認を得ており、かつ大会スポンサーと競合しない場合は認めることがある。
- l) 【ユニフォーム規定第10条による大会特別規定】膝ガード用サポーターの色は規定しない。
- m) 【ユニフォーム規定第10条による大会特別規定】廃版等によりユニフォームデザインに微妙な違いがある場合、県大会では可能な限り統一することとする。ただし、関西大会では許可されないので注意すること。
- 5) テクニカルエリア
- ① テクニカルエリア(ベンチ)に入れる人数は、エントリー選手全員と、チーム役員3名以内とする。
 - ② その都度ただ1人のチーム役員のみが戦略的指示を伝えることができる。
 - ③ 選手及びチーム役員は、必要時以外は常に着席していること。
- 6) 試合時間
- ① 試合時間は前、後半とも20分間とし、ハーフタイムのインターバルは5分間とする。(選手の負傷等で試合時間が空費された場合、主審の判断で時間を延長し、アディショナルタイムを表示する)
 - ② 必要に応じて、前・後半中程に飲水タイムを採用する。その間は試合時間の計測を中断する。
 - ③ 決勝のみ、前後半5分ずつの延長戦を行い、なお決しない場合はPK方式により勝者となるチームを決定する。延長戦に入る前のインターバルは5分間、PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。
- 7) PK方式(以下PK戦)について
- ① 規定の試合時間内に勝敗が決しない場合、PK戦により勝者となるチームを決定する。PK戦は3人で行い、4人目以降はサドンデスとする。
 - ② PK戦の進行中に、GKが負傷してGKとしてのプレーが続けられなくなったとき、エントリーされている交代要員と交代することができる。
 - ③ 上記②の例外を除いて、延長戦のある場合はそれを含めて、試合終了時にフィールド内にいた競技者にのみペナルティーマークからのキックを行う資格が与えられる。
 - ④ 上記③の資格のある競技者は、PK戦の進行中に、主審の許可を得てGKと入れ替わることができる。
 - ⑤ 試合が終了したとき、フィールド内で一方のチームの競技者が相手チームより多い場合、競技者の多いチームはPK戦を行う前に相手チームの競技者数と等しくなるように自チームの競技者数を減らさなければならない。主将またはベンチのチーム役員は、除外する競技者の氏名と背番号を主審に通知しなければならない。これによって除外された競技者は、PK戦に参加することはできない。
- 8) 審判
- 準々決勝(3回戦)までは1人審判制、準決勝以降は4人審判制とし、審判員は県協会より派遣する。
- 9) 警告・退場
- ① 競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は、競技者が補充されようとしている間、試合を停止する。
 - ② 本大会において退場を命じられた競技者は、本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会の規律・フェアプレー委員会で決定する。
 - ③ 本大会の異なる試合において警告を2回受けた競技者は、本大会の次の1試合に出場できない。
 - ④ 本大会の規律・フェアプレー委員会の委員長は、公益社団法人滋賀県サッカー協会4種委員長が務める。委員については、委員長が決定する。

15. その他

- 1) 本大会の一部の試合において、マッチウエルフェアオフィサーを置く。チーム責任者は、マッチウエルフェアオフィサーの活動に協力すること。
- 2) 本大会は「大会要項」「県大会における注意事項」「4種委員会規約及び申し合わせ」に基づき運営する。規定のない事項については、大会本部役員が最終的に決定する。
- 3) 主催者は、大会中の災害・事故・怪我・疾病等についての責任を負わない。
- 4) チームの都合による遅刻は認めない。試合開始予定時刻を経過しても到着せず連絡もない場合は、試合放棄による棄権とみなし、0対10で相手チームの勝利とする。それ以降の処置については本大会の規律・フェアプレー委員会で決定する。
- 5) 止むを得ない事情により到着が遅れる場合は、必ず大会本部に連絡し、指示を仰ぐこと。事前に遅刻の連絡があった場合、大会本部がその理由や他のチームの都合を考慮して日程調整の可否を検討する。
- 6) 悪天候や諸事情により決行が危ぶまれる時は大会本部または各ブロック長に問い合わせること。

トーナメント表



県大会出場チーム

特別枠：FC. SETA 2002 SHIGA

湖西ブロック代表【8チーム】(31)

- 里東フットボールクラブ
- 青山ジュニアフットボールクラブ
- ヴォンゴーレ瀬田フットボールクラブ
- 仰木スポーツ少年団サッカー部
- 打出フットボールクラブ
- オールサウス石山SC Jr
- 石山スポーツ少年団サッカー部
- BIWAKO S.C. 志賀ジュニア

湖南ブロック代表【6チーム】(24)

- 草津フットボールクラブ
- 滋賀セントラルフットボールクラブ U-12
- 守山少年キッカーズ
- 笠縫オレンジボーイズサッカークラブ
- 守山白鳳サッカースポーツ少年団
- アミティエ・スポーツクラブ草津

湖東ブロック代表【8チーム】(37)

- 野洲ジュニア・フットボール・クラブ
- 北野サッカークラブ
- 安土スーパーヒーローズ
- FCジュニオール滋賀
- 豊栄クラブジュニア
- 亀山サッカースポーツ少年団
- 中主サッカースポーツ少年団
- 玉園フットボールクラブ

湖北ブロック代表【3チーム】(13)

- びわサッカースポーツ少年団
- 南郷里FV
- 浅井FC

甲賀ブロック代表【6チーム】(20)

- 伴谷スポーツ少年団サッカー部
- 希望ヶ丘サッカースポーツ少年団
- 菩提寺サッカースポーツ少年団
- 大原サッカースポーツ少年団
- 水戸ジュニアフットボールクラブ
- 三雲東エスペラルFC

県大会における注意事項

1. 試合前

- 1) 試合開始予定時刻の1時間前までに会場に到着し、速やかに大会本部へ選手証を提出すること。選手証はケース等から取り出し、背番号順に揃えて提出すること。
- 2) 選手証及び監督証は、顔写真が確認できるものを提示すること。提示なき場合は参加を認めない。
- 3) 選手と監督は、試合開始45分前までに大会本部受付でエントリーの確認を受けること。監督が代行者の場合はエントリー表の代行者欄に氏名を記入すること。
- 4) 大会エントリー表の写しを各チームで準備し、試合開始30分前までに、先発メンバーの背番号に○印を記入して大会本部と対戦相手に提出すること。ベンチに入るチーム役員の氏名を必ず記入すること。
- 5) 第1試合のウォーミングアップのためのピッチ使用は、試合開始予定時刻の30分前からとする。第2試合以降は指定の場所で指定の順番に行うこと。ハーフタイムは次試合チームのピッチ使用を禁止する。
- 6) 準決勝以降は、試合開始1時間前にマッチコミッショナー会議を行う。監督は正副2種類(フィールド及びゴールキーパー)のユニフォームを準備し、時間厳守で出席すること。

2. 試合

- 1) ベンチの位置は、ベンチからピッチに向かって左側を組合せ表の上のチーム、右側を下のチームとする。
- 2) ベンチに持ち込む物は、飲料・救急用品・必要最小限の衣類・タオル類・チーム役員用の携行品のみとし、使用時以外はベンチ後方に置くこと。ボール、バッグ等は持ち込まないこと。
- 3) 人工芝及び天然芝での給水用飲料は、水・茶のみとする。
- 4) ベンチの控え選手は、ピッチ内の選手と区別できる服装であること。(ビブス等を着用)
- 5) 試合開始前にタッチライン上で審判による選手チェックを行う。エントリーした選手は全員タッチライン上に整列して待機すること。(自由交替制のため、全員が試合前にチェックを受けること)

3. 観戦・応援

- 1) 観戦や応援はスタンド席及びフェンス外の歩道で行い、大会本部が移動を依頼した場合は指示に従うこと。
- 2) 応援には楽器及び楽器に相当する器具を使用してはならない。

4. その他

- 1) 選手・チーム役員及びチーム関係者は、審判の判定等に対して絶対に抗議してはならない。試合中、試合後を問わず、いかなる形でも疑義や不服を行動で表すことは禁止する。
- 2) 本大会の配布資料及び映像・画像・音声等(個人所有機器での記録を含む)は、大会のルールに反する目的による複製・配布・譲渡・公開を禁止する。公の上映や無許可の有価販売については、いかなる場合も禁止とする。個人のHP等に公開する場合は、肖像使用許可や個人情報漏えい防止に充分配慮すること。
- 3) 協賛・スポンサー各社の競合他社排除に配慮すること。他社の社名・ロゴ・宣伝コピー・商品名等の表示されたビブス、給水容器、服装、バッグ、チームテント等の使用は可能な限り避けること。
- 3) グラウンド内での飲食は禁止とする。(試合に必要な給水は可)
- 4) コート内への立ち入りは、選手・チーム役員・大会運営役員及び契約カメラマンのみ許可する。
- 5) 忘れ物がないように注意すること。持ち主不明の忘れ物は、当日の後片付けの際に処分する。
- 6) 指定場所以外での喫煙は禁止とする。
- 7) 会場付近の路上や私有地に絶対に駐車しないこと。違反車両に対しては厳格に対応する。
- 8) ビッグレイク利用時の注意
 - クラブハウス前の駐車場は歴史公園の一般利用者専用とし、本大会関係の車両は利用不可とする。
 - 試合終了後は速やかに後片付けを行い、1時間以内に会場から退出すること。
 - 送迎車は1チーム10台以内とし、車のよく見える位置にチーム名を記入した駐車許可証を置くこと。
 - Bコートスタンドは応援及び観戦専用とし、チームの荷物置き場(テント等)は、Aコート横の通路脇に設置すること。常設広告等がチーム応援バナーで隠れないように注意すること。
 - クラブハウスは、原則として大会運営役員以外の立ち入りを禁止する。(軒下の使用も禁止)
 - スタンドの障害者席には荷物等を絶対に置かないこと。
 - スタンドでは暖房器具の使用を禁止する。

※ 選手・チーム役員及び関係者は、本大会の規定や競技規則を遵守し、社会常識に基づき行動すること。会場内外でチームに起因する問題が発生した場合(関係者の交通違反及び事故等についても)、**全て該当チームの代表者の責任**とする。